

農業改良



普及センターだより

【写真】五百万石のほ場で出穂後のカメムシ発生状況を調査する普及指導員

中丹地域酒米生産研修会を開催!



7月21日(金)に綾部市中央公民館で中丹地域酒米生産研修会を開催しました。「祝」「五百万石」「京の輝き」の生産者の参加のもと、気象変動に対応した栽培技術や、地元酒造業者の取組みを学んだ後、3か所の現地ほ場で各生産者からカメムシ防除の留意点や育苗省力化の新技術について取組状況を報告いただきました。

引き続き、魅力ある酒米産地を目指し、技術の研鑽・交流を深める機会を提供していきます。

『京の米で京の酒を!』に取り組み身近な酒蔵 一押しのお酒

中丹地域の酒造卸業者の作り手は、酒造卸業者の協力を受けています。近隣の酒蔵でこれらを生産したとある酒蔵やその他の酒蔵内容を紹介します。

| 酒蔵名      | 所在地 | 特徴  |
|----------|-----|-----|
| 東和酒造株式会社 | ... | ... |
| ...      | ... | ... |
| ...      | ... | ... |
| ...      | ... | ... |
| ...      | ... | ... |

研修会に合わせ、近隣の酒蔵4社で地元産米等にこだわった8銘柄を一覧形式で紹介しました。杜氏からのコメントとして、「祝」、「五百万石」それぞれの特性を活かした酒造りへの思いを掲載しています。

詳細は普及センターHPからご覧ください。

URL : <http://www.pref.kyoto.jp/chudan/h-fukyu/documents/tyuutannosake.pdf>

京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆  
2017年(平成29年)夏

ひがし  
中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁島10-2  
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

にし  
中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91  
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp



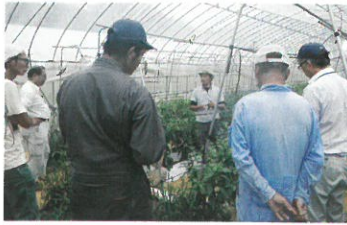
# 普及センターが取り組む 活動の3本柱

## 1 人づくり・

### 組織づくり

新規就農希望者や新規就農者が農業に関する基礎知識や技術を習得するための講座を開催するとともに、新規就農者の経営が早期に安定するよう個別支援を行っています。

また、地域特産物の担い手育成のための研修や地域の中心的な担い手となっている農業法人の支援を行っています。



「万とうゼミ」の現地互見会



このくに茶業青年団の製茶研修

## 2 地域づくり・

### 絆づくり

高齢化等で地域農業の担い手が減少する中、地域の住民が話し合い、地域の農地と担い手を結びつける「京力農場プラン」の作成や作成地区の交流等を支援しています。

また、地域の多様な人材で山ブキなど地域資源の生産拡大を図ることで山際の水田の維持と地域の活性化を支援しています。



京力農場プランの説明会



佃煮用山ブキのカット作業

## 3 ものづくり・

### 販路づくり

地域特産野菜の万願寺甘とうや黒大豆枝豆について、新規生産者や生産量の大きな農業者の巡回を中心に生産量の拡大や安定生産を支援しています。

また、府内の酒造業から要望が強い酒米（祝・五百万石・京の輝き）では、増収のための施肥の検討や品質の向上と生産安定を支援しています。



万願寺甘とうの現地講習会



酒米生産研修会

中丹東・西普及センターの活動は、京都府の「明日の京都」や「農林水産京カプラン」、「中丹地域振興計画」に基づく普及計画によるものです。  
「人づくり・組織づくり」、「地域づくり・絆づくり」、「ものづくり・販路づくり」の柱を立てて課題を設定し活動を行っています。

新所長です  
よろしく  
お願いします!



岩井所長  
(中丹東)



城田所長  
(中丹西)

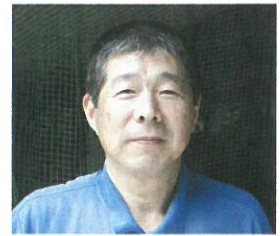


# クローズアップ 中丹

Vol.5

～様々な角度から頑張る方々を紹介～

## 地域で活躍する農業士



霜尾 政幸 さん  
(舞鶴市西方寺)

現在、安心・安全な養鶏をモットーに平飼いの精卵を中心に生産・宅配を行っています。ところで、地域農業の担い手が不足する中、私の住んでいる舞鶴市西方寺地区では、他地域から若い人達が入ってきてくれ、担い手としてがんばってくれています。私の息子達四人も全員、地域で就農しました。私は、普段から、地域で農業を営むためには、人と人とのつながりが一番大事だと考えています。若い人達にも人との縁を大切にしてがんばってほしいと思います。

## 京力農場。みんなはたらく地域

### 上豊富地区

(福知山市畑中 他11集落)

- ・中心となる担い手 1法人
- ・農地面積 180ha
- ・スローガン 『みんなで守ろう』

上豊富の自然豊かな環境と美田

20年以上活動してきた上豊富営農組合に代わり、平成28年に立ち上げた(株)とよみが地域の農作業を引き受けています。この法人は役員6人で組織され、オペレーター6人と合わせ、12人で受託作業に励んでいます。多くの農家が参加する農事組合法人ではなく、株式会社で組織したので意思決定は早いのですが、それだけに地域農家に信頼される活動が重要となっています。

## 担い手養成実践農場研修了者にきく

### 〈経営開始型〉



舞鶴市加佐地区の農家の下で8年間、農業の仕事を手伝っておられた永田さん。独立就農を目指し、水害リスクの少ない白屋町で平成27年度から経営者としての研修を1年間実施されました。研修中は生産物の原価計算など、農業経営のやり方を指導者から学んだとのこと。

現在の目標は万願寺甘とうを経営の柱としながらも、カラフルなミニトマトを直売所の人気商品に育て、より経営の安定化を図ること。これから新規就農を希望される人たちにとって、自分が一つのモデルとなるよう頑張っていくきたいと今後の意気込みを語っておられました。

### 永田 史朗 さん

(平成27年 就農)  
舞鶴市白屋町

#### 経営内容(29年度)

- ・万とう 8a
- ・ミニトマト 3a
- ・里イモ 2a

低コスト化で直播栽培に取り組み飼料用イネ(WCS)



現在は春と秋の稲の作業が中心で、今後も低コスト化を進めながら地域の農地を守っていく。一方、年間を通じて作業や収入を確保するために、他品目の導入についても検討を進めています。



小学生の田植え体験にも取り組みたい



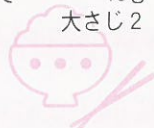
JAから無償貸与の社屋

## 〇〇さん家のお料理レシピ 「梅ごはん」

和木町農林業振興組合女性部の皆さんにお聞きました。



- 〈材料〉
- 米 3合
  - 梅干(果肉部分) 30g
  - チーズ 80g
  - しらす干し 25g
  - 青じそ 10g
  - 酒 大さじ2



- ①米は洗ってざるにあげておく。
- ②梅干しは種を取ってきざみ、チーズは5mm角に切る。しらす干しは、湯通ししておく。
- ③米は普通の水加減にし、分量の酒を入れて炊く。
- ④炊き上がったたら軽く混ぜ、②と青じそのみじん切りを散らす。塩分があるので、最後の梅干しの量で塩分の調整をする。



チーズ風味で梅干し嫌いのお子様もOK!?





## 磨きぬいた伝統技術を伝えていきませんか？ 京都農山漁村伝承技能登録の募集

京都府では、伝統的または優れた生活・生産技術を次世代に継承するため、「農業」「林業」「漁業」の各分野で、豊かな経験と実践により磨かれた技術をお持ちの方を登録しています。  
(例：栽培技術が優れている、伝統的な手法や技術を保持しているなど)

65歳以上で、府内在住であれば、自薦・他薦は問いません。

- 募集期間  
8月1日(火)～8月31日(木)
- 問合せ  
最寄りの普及センターまで



## 『中丹地域農業基礎講座』の受講生募集

農業を始めて間もない方やこれから本格的に農業を取り組もうとしている方、定年帰農者の方等を対象に、農業の基礎的な知識習得を目的とした講座を10月から12月にかけて10回開催します。

- 講座の主な内容  
野菜や作物の栽培概要、土づくり、農業機械の安全使用、鳥獣害対策、病害虫対策、先輩農家のほ場見学など
- 募集期間  
平成29年8月1日(火)～8月31日(木)
- 問合せ・申込  
中丹東農業改良普及センターまで

## 気象災害の防止には事前の対策を!

今年の1月、2月の大雪により、多くのハウスが倒壊しました。雪害をはじめ、多くの気象災害は事前の対策をしっかりとることで防ぐことができます。今回、気象災害の対策についてホームページを作成しましたので以下のサイトを閲覧いただき、今後発生する可能性のある台風や大雪へ早めの対応をしていただきますようお願いいたします。



雪害で倒壊したビニルハウス

<http://www.pref.kyoto.jp/chutan/h-fukyu/kisho.html>

## 秋の農作業を安全に行いましょう!!

- 死亡事故は大型機械の転倒が多くなっています。狭い農道ではコンバイン等の大きさを考え、ゆっくり、確実に方向転換しましょう。
- 作業中に機械の状況を見るときは、機械に巻き込まれたりしないよう、確実にエンジンを切りましょう。
- 1疲労が蓄積する時間帯の11時、16時に事故が多くなっています。適度に休憩を取りましょう。
- 計画的に農作業を行い、日没までには終了しましょう。家に無事に帰るまでが農作業です。



急ハンドルで横転したコンバイン

## 稲刈後から始まる獣害対策

### ①ヒコバエは10月上中旬にすき込みましょう!

稲株から再生するヒコバエは、量にして10aあたり100kgにもなるといわれており、そのままにしておくとシカの餌となります。秋起こし作業ですき込みますが、作業時期が早すぎると年内にヒコバエが再生し、遅すぎると平均気温が15℃を下回り稲わらの分解が進みません。計画的に作業を進めましょう。

### ②電気柵は降雪までに撤収しましょう!

積雪時に電気柵が残っている場合、雪の重みや除雪作業で柵が倒れたり、枝の乗りかかりで電線が破損する事があります。ヒコバエが残っている間は電気柵が必要ですが、秋起こし作業でヒコバエがなくなってから降雪までに撤収しましょう。

### ③撤収までは一日中通電しましょう!

通電していない時に獣が触れると電線を「ただの紐」と認識してしまい、通電中も警戒せずにくぐろうとし、突破される確率が高くなります。

また、定期的に電圧チェック(3,000ボルト以上)も行い、獣を電線に慣れさせないことが大切です。



穂が着生したヒコバエ(10月)



積雪で傾いた電気柵の支柱